



鴉の声

本来なら秋真っ盛り、食欲の秋、錦秋に彩られた秋、秋晴れのもとレジャーやアウトドアと計画を立てている方も多いかと思えます。しかしながらまだ夏が色濃く残っています。近年の傾向から推移すると、夏から、いきなり初冬という気候の変化が考えられ、気温のアップ・ダウン、体調の管理に十分気を付けなければならぬ季節でもあります。

又、先には衆議院が解散され、総選挙を迎えようとしています。各政党とも論点を整理し政策を訴えて行くのであらうと思えます。消費税を規定路線で増税するのか、また、その使い道をどうするのが一つの大きな争点となるようですが、社会保障と税の一体改革、当時の3党合意では、増税分の一部を社会保障の財源にあて、残りを、基礎的財政収支（プライマリーバ

ランス）を早い時期に達成するための財源に充当するということとでありましたが、私ども、介護や子育て等、福祉に携わるものとしては、社会保障の財源に充当して頂いた方が良いかと思えます。ただ、国の借金が1,000兆円を超える状況下では様々な議論の余地はあらうと思えます。

本会も多種の事業を展開していくなかで、現在の社会状況ではなかなか人の確保が困難な状況は続くのではないかと思っています。

私が社会人としての駆け出しの頃は、高度経済成長期で人手不足の時代もありました。当時、生産性を目指して「少数精鋭主義」という考え方が叫ばれていた時代でもありました。それが、今の時代に当てはまるかどうかはわかりません。その当時とは人口構造が大きく変化し、「ヒト」「モノ」「カネ」という経営資源が限られているなかで、最

大限の生産性を確保して行くために、「人づくり」は最も重要なことではないかと思えます。

幕末の志士で教育者でもあった、吉田松陰の言葉に「同じではない人間を同じにしようとはせず、いわゆる、その人の優れた才能を育てることに努めるべきである。」とあります。

本会も各拠点によっても異なりますが、世代がバランスよく整っているところもあれば、若い世代が多くいる職場もあります。それぞれの拠点によって抱えている懸案は違っても、共通して言えることは、中堅職員の指導力の強化や、ここ数年で入職してきた職員の育成等をしつかり行つて行かなければならぬと思っております。

今後、専門家の意見をお聞きしながら、人材育成に力を注いで行きたいと思っておりますので、関係各位のご支援とお力添えをよろしくお願い申し上げます。（総合施設長 齊藤 操）

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴛嶺の家（高齢者・障害者）

朝夕はずいぶん涼しくなりました。皆さんいかがお過ごしでしょうか？

さて、今月は岩崎のお祭りがありました。東金市在住ではない私は、東金市のお祭りの多さにとても驚いています。他事業所のありさが参加していたので、その日いらしていた鴛嶺の利用者さんと応援に行ってきた。鴛嶺の利用者でもあるHさんは、顔を真っ赤にしながら声を出し、「鴛嶺のみんなの分まで頑張るからね！」と気合十

分！とても頼もしかったです。応援に行かれた利用者さんも皆さん楽しそうでした♪そしてお祭りに参加されていた大学生とみんなで写真を撮りました。

また、平日の鴛嶺では、少し前から若者に流行中のハンドスピナーがブームです。ただ手の上で回すだけというシンプルなおモチャなのですが、今世の中ではすごく流行っているみたいですね。Aさんはもともと紐をクルクル回すのがとても上手です。そんなAさんはやつぱりハンドスピナーを回すのもお手の物!!クルクルと上手に手の上で転がして楽しそうです。Mくんも、机の上で高速回転させたりと、色々な遊び方を発見していました。

やつと涼しくなり、散歩に出かける回数も多くなっています。のんびりと平和に過ごせたらいいなあと思うこの頃ですね！季節の変わり目、皆さんもお体には十分お気をつけくださいませ！

鴛嶺の家（児童）

公園の葉も日ごとに赤や黄色に彩りを増しています。皆様もお変わりなくお過ごしでしょうか。

夏休みの賑やかさは落ち着き、少し淋しい様な気もします。ですが、新しいお友達仲間入りしました。人見知りには激しいけれど、慣れると、とてもおしゃべりな可愛い女の子。これからどんどん、みんなと仲良くなってくれることを願っています。

9月16日、ヤクルト工場へ見学に行きました。工場見学の前に四街道のイトーヨーカドーのフードコートにて、好きな物を注文し、みんなで食べました。小学生の子は、注文や会計を自分でしました。練習をしてから行ったので上手にできていました。

ヤクルト工場の見学では、アニメでの説明を観てから製造工

程を見せて頂きました。皆、割と静かに聞くことができ、気になった事は質問して頂きました。みんな、ヤクルトの容器ができることや、その容器にヤクルトが入るところを見て「すごい！」と言ったり、ニコニコしながら食い入るように見ていました。その後は四街道総合公園でみんな楽しく遊んでくれました。

また、新たな取り組みも始めました。曜日ごとに運動や音楽、おやつ作り、工作、買い物など、子ども達が楽しめるものや色々な経験を積めることをやっています。まだ始めたばかりで、試行錯誤していますが頑張りたいと思っています。



ぼけつと

日が落ちるのも随分早くなり秋の訪れを感じる今日この頃。子ども達も新学期がスタートし、早寝早起き生活が始まり一ヶ月。なかなかリズムが戻らず、ぼけつとへ帰って来て眠たそうにしている子の姿も見られます。「ただいま」そして真つ直ぐソファアへゴロンと…。その姿を見て、今日も頑張ったねとそつと優しく見守ってあげたくなります。子ども達にとつてぼけつとが第2のお家のようなゆつたりと過ごせる環境をこれからもつくっていききたいです。

少しずつ普段の生活リズムを取り戻し、有り余る体力で公園で元気に走り回って遊ぶ子ども達。最近では、外に出るとすつかり秋模様です。「トンボがいる」と追いかけたり、重なる落ち葉を踏みしめたり、「ドングリみつけたー」とドングリを拾い、みんなでドングリに顔を描



きました。一つ一つに個性があり、とても可愛いだった一つのドングリの完成です。秋は沢山の自然に触れ合う事ができ、また過ごしやすい季節なので、外で体を動かしながら秋の味覚や自然と触れる体験をしていききたいです。

そして今年もハロウインの準備を子ども達と一緒に始めました。子ども達と一緒に秋を楽しみたいと思います。

サポートセンタースピリッツ

金木犀の匂いが香る季節になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

この時期は外に行く支援の時に歩きやすい季節ですが、支援の仕事で外に出ていると気づく事があります。それは、安全のために設置している縁石などが、逆に障害になって歩きにくくしている事です。安全のために設置した縁石が歩道を狭くして歩きにくくする事があり、考えさせられる事がありました。

電柱や反射鏡、交通標識など生活や安全に必要とされているものの設置の仕方が逆に危ないという事が多くみられます。安全を大前提に設置されるのは大切な事ですが、安全を意識しすぎる事が逆に障害になる事も多いのではないかと支援をしながら思いました。

身近なものの中に意外と危ないと思われるものが多くあり、



蝉の声から鈴虫の音色に変わり、確実に秋へと移行してきます。

秋といえば、スポーツ、芸術、読書など色々連想されます。今や読書も電子媒体というのも珍しくなく、会話もメールやラインという方も多いでしょう。使用する言葉によっては相手を傷つけてしまうこともあり、文字にするのはとても気を遣います。話す時の言葉も一緒に、伝える方と受け止める方での違いは生じてくるものです。自分はそんなつもりで言っただけではないのに…という経験は少なからずあると思います。

赤ちゃんは泣いて自分の思いを伝えます。お母さんは、ミルクかな？オムツかな？それともどこか痛いかな？と赤ちゃんの思いをくみ取ろうとします。言葉を発するようになると、言

葉で相手の気持ちを理解するようになり、くみ取る、察するということがだんだん減ってきてきます。でも、その人が発する言葉だけではなく、その向こうにある思いを察することは大切なことなのではないでしょうか。

言葉に乗せるのが上手い人ばかりではなく、思いと裏腹な言葉を発する時もあります。行動、態度、視線、前後の状況など色々な観点からその人の思いをくみ取れることは信頼関係を築いていくためにも必要なことだと思えます。



だいぶ涼しくなり過ぎしやすくなってきましたね。皆さんいかがお過ごしでしょうか。

先日、みんなまでバス・電車の旅と外食をしました。大網にある大里綜合管理さんの棚シヨップに商品を置かせて頂いているのですが、そちらで売上の頂戴と茶話会に参加してきました。お出かけはやっぱりみなさん楽しいのか朝からハイテンション！循環バスはハロウインの装飾がしてあり、そんな車内を見てIさん「かぼちゃ！おぼけ！」とニコニコでした。そんなIさんを見て「声！声！」と注意するHさん。Hさんの意外な出方にスタッフもびっくりしました。

ひとりひとり切符を買い、みんな笑顔で電車に乗りこみました。大網駅からは徒歩で大里へ。到着すると、茶話会の席に付いたのはHさん、発言しないもの

のママ達の話に傾き違和感なく話の輪に入っていました。昼食はおとなりデニーズで、各々パスタ・ハンバーグなど好きな物を選びました。朝からデザートも視野に入れていたAさん、食事を決める前にデザートを指したCさん、ご期待に応えデザートタイムもね^(^^)その後、駅周辺を散歩し2本も電車に乗り遅れバタバタしましたが、みなさんの笑顔にほっこり帰ってきました。今後みんなな機会を作っていきたいと思えます。



ハンドワーク（就労継続支援B型）

金木犀の香りが風に乗って届く季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

10月に入って急に寒さが厳しくなり、ハンドワーク就労では咳や鼻水の方がチラホラ見受けられるようになりました。熱は出ていないものの、作業はちよつと取り組みづらそうです。かくいう筆者もなかなか咳がおさまらず、直しきるまでに2週間近くかかりました^(^_^) 皆さんもお体にお気をつけて！

そんな風邪が流行り出す数週間前に、ハンドワーク就労は生活介護の方々と一緒にお蛇ヶ池にお散歩に出かけました！まだまだ暑さと湿度の高い時期だったので、半周を歩き終え、皆で一呼吸ついている時に池を渡って吹き抜けた風が心地よかったのが印象的でした。休憩中に思っていた皆さんの中でも、普段あ

まり長距離を歩かないAさんはどうか？嫌がついていないかな？と不安になり話してみると、どうやら運動が大好きとのこと!!運動会や今回の長距離お散歩も（苦手な虫はいるもの）どうやら楽しんでくださっていたようで、ちよつと嬉しそうにお話をしていました。そのあとは、好きなアイドル当てをしていたのですが、なかなか当たらずにお散歩を再開!帰りの車にたどり着いても当てることが出来なかったので、次こそは正解!の笑顔をみられるようにお散歩も、お話もチャレンジしていきたいと思つたひとときでした。



ありさ（就労継続支援B型）

少しひんやりとした心地よい風が、秋の訪れを感じる今日この頃。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

まだ夏の日差しが残りながらも、少し曇っていた先月の始めのことです。私たちの事業所がある地区で、二年に一度のお祭りがありました。今回は初めて参加させてもらったこのお祭り。今回は朝から昼過ぎまでずっと一緒に歩かせてもらいました。お囃子の乗っている屋形というものを皆で引つ張って歩きました。この地域でよく演奏される「大漁節」というお囃子が流れると、周りに合わせて「ハア〜コリヤコリヤ」と合いの手を入れたり、調子の良いお囃子の時は「わっしょい!わっしょい!」と掛け声をかけたりしました。

休憩のときに、お神輿を担いでいる青年団の人たちに交じっ

て一緒に盛り上がり、名前を覚えてもらっているメンバーもいました。地域の人たちに少しづつでも溶け込んでいるのを実感できた一日でした。

地域のお祭りに一緒に参加して下さった保護者の方々も一日お疲れ様でした。



五根の家（グループホーム）

今年の夏は晴れの日が少なく、雨の日が大変多かった夏でしたが、熱中症になる事も無く、この夏を全員で乗り切る事ができました。

さてグループホームに9月4日から新しい方がご入居されましたので紹介致します。

85歳女性Kさんです。皆さん90歳代の中、唯一の80歳代です。先日は、スタッフと一緒に歌を歌ったり、ぬり絵も自分で色を選ばれ、とても綺麗な仕上がりでした。杖なしで廊下を歩かれるぐらいお元気で、お食事もご自分の歯で召し上がっています。

先日、敬老の日の昼食は、豪華なお弁当に感謝の気持ちとお祝いの気持ちを込めたカードをお送りしました。1人ひとり写真撮影し、お祝いさせていただけきました。お弁当のご飯のお赤飯、15時のおやつのお粉おはぎ

は皆さんに大好評でした。Kさんも笑顔が多い1日を過ごされ、私たちも至福な時間を一緒に過ごすことができました。

これから、Kさんと一緒に時間を多く過ごすことで、Kさんが今なにを想い、何を望んでいるかを探り、グループホームで不安無く、家族のように自然に暮らすことができるよう私たちも工夫していこうと思います。

平和な日常が脅かされている現在ですが、戦争が始まることがないよう祈りながら、皆さんの穏やかな生活を見守っていきたいと思います。



五根の家（小規模多機能ホーム）

夏が過ぎ、過ごしやすい季節になってきました。しかし、昼夜で温度差があり、体温調節が難しいお年寄りにとっては風邪など油断の出来ない季節でもあります。体調管理に気を付けながら毎日を楽しみたいと考えています。

夏の時期には多くのイベントがあり、お年寄りの皆さんがそれぞれに楽しめるものに参加されました。YASSAフェスティバルではサンピア前での踊りや中央公園内でのイベントを観たりしました。無料で配布していたうちわや風船をたくさん頂き、童心に戻ったように笑顔で受け取っていました。また屋台で買ったたこ焼きも食べました。他にも大和地区の「ふれあい大和祭」や台方地区の「夕涼み会」にお声掛け頂いて参加したり、岩崎地区の「菅原神社のお祭り」も沿道で見学しまし

た。お祭りに参加していたスタッフと笑顔で記念撮影をしています。事業所内でもボランティアさんによる、トランプ・マジックを観たり、歌を歌ったりと楽しい時間を過ごしています。

様々な場面でお年寄り一人ひとりの笑顔を見ると、スタッフ自身も嬉しい気持ちになります。そんな時間を大切にしていきたいと思っています。

一方で日々、必要な支援に当たる事に精一杯でスタッフ自身に気持ちの余裕が持てなくなる時があります。スタッフもお年寄りの皆さんと一緒に生活を樂しめる事を大事にしていきたいと思っています。その為には、限られた条件の中で目の前のお年寄りにとって一番大切な事は何かを皆で考え、それに向けてご家族や地域の方と協力して行っていく事が大切だと思っています。あきらめずにコツコツと毎日を積み重ねていきたいと思っています。

こころん

木々の葉も美しく色づいてきました。

いろいろな理由で自宅から出ることが難しい人からの相談を受けることがあります。

この秋、そのような方の作品をメールでのやりとりで作成しイベントで展示・販売してみようという試みを山武市の生活困窮者自立相談支援事業所と一緒に計画があります。作品を行う計画があります。作品を手に取り喜んでくれる人がいたら、そのシーンを本人に写真や動画で見てもらい間接的に社会との関わりを持つてもらおうと考えています。結果はいかに…!?

秋のフードドライブが始まっています。フードドライブとは、家庭で余っている食べ物を持ち寄り地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。こころんにも地域の方からのご寄付や、フードバ



ンクちばから預かった食料があり、必要に応じお渡ししています。職員で話し合い「ただお求めに應じるだけではその方の問題解決にならない。2度目のお求めからはじっくりお話をし、どうすれば状況が改善していくかを一緒に考える。」というお約束をしたうえでお渡ししています。

すっかり食べられるのは給食だけという子どもも現実にはたくさんいます。実りの秋、空腹を我慢する人が少しでも少なくなるように頑張りたいと思います！

いくりん

爽やかな風を感じる季節になりました。食べることの好きな子ども達が待ちに待った食欲の秋がやってきました！

子ども達のいいじやパパが丹精込めて作った新米をみんなで美味しくいただきました。大変ごちそうさまでした。

秋の自然に囲まれて、お散歩しやすい時期になってきました。子ども達も公園で、赤や黄色になった葉っぱを見つけたら、どんぐりを拾ったりして楽しんでいきます。

Rちゃんは、「どんぐりコロコロ♪」と歌いながら、どんぐりを嬉しそうに拾っています。Kちゃんは、拾ったどんぐりを「どうぞー!」とスタッフに渡してくれます。子ども達の中で、どんぐり拾いが密かなブームになっています。

夏にカブトムシやザリガニを飼いましたが、この度、新た

にメダカが仲間入りしました。ちっちゃくてかわいい赤ちゃんもいます♡

Hくんは、動いてるメダカをよく観察しています。まさに生き物係です！生き物が大好きな子ども達は、メダカにも興味を持ってくれました。

いくりんの花壇もゴーヤやトマトにサヨウナラして、60日白菜とスティックブロッコリーを植えました。みんなで「おいしくな〜れ」と願いを込めて一生懸命育てます。

また、体調を崩しやすい季節でもあります。みんなで元気いっぱい秋を満喫していきたいです。



ゆーすぽーと

秋晴れの下、子どもたちの飛び切りの笑顔がはじけていた。ゆーすぽーとの日常の活動中「メンドクサイ」、「ツカレタ」、「ヤリタクネー」と否定語を連発させているKくんの笑顔は最高だった。態度の表裏のカイ離がそう言わせているのではなく、事実最も輝いていたのだ。顔中に汗を吹き出させ、夢中でさつま芋を掘り、落花生を掘った。大きな芋の土を取り除け簡単に掘れる状態にして、「これ掘っていいよ」と小さな子に呼びかけている姿は、普段のトラブルメーカー振りを微塵も感じさせない。農園主への「ありがたいございました」のあいさつも大きな声で心より発せられていて、心地よく聞こえた。家庭ではなかなか体験できないことだったからか、清々しい天気模様か、土に触れる行為だったからか、収穫する喜びか、とにかく

くどの子どもいい顔だった。

ゆーすぽーとでは、学習支援、居場所・食事の提供とともに体験活動を重視し、活動の柱としている。学力も生きる力も経験がバックボーンとなっていると考えているからだ。

八月にはブルーベリー摘み体験と収穫したブルーベリーをジャムにする経験もした。同じく八月には木工教室も実施し、ステンシルを施したかわいい作品を仕上げた。これからもそば打ち体験、ケーキ作り、餅つき大会、書家を迎えての書道教室、太巻き寿司教室、みそづくり体験などが続く。

ブルーベリー摘みの後に書いた作文の中に「時間があいている時にお話して（講師の先生と）楽しかったです。」の一文があった。私たちが大切に思う「多くの大人たちとの出会い」をしつかり体験してくれている証と勝手に理解して一先ず安堵している。

企画・イベント情報

穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦労話等を気軽に本音で話し合う会です。

日時：11月9日（木）

会場：ふれあいセンター

2階 創作室

経費：200円（昼食代）

主催・連絡先：

穂垂るの会・井上

（090・7171・1701）

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日 11月1日（水）

11月15日（水）

※興味のある方はご連絡ください。

ありさ（50-0362）

編集後記

ゆーすぽーとでは運動会に一喜一憂する子どもたちの姿が多く見られ、羨ましく思いました。各々の学校でどんな違いがあるのかと運動会談義が始まったり、応援歌を披露してくれたりととても賑やかな9月でした。（S）
一気に寒くなりましたね。私も私の周りでも急に体調を崩した方がとても多いです。秋冬は食べ物がとても美味しいので食べ過ぎないようにこのシーズンを満喫しようと思います！（W）



ちばしゃ通信 (Vol.36)

発行日：2017年10月15日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630